

# 令和6年度 事業計画書

## 1 運動推進の基本的考え方

東京のあすを創る運動は、昭和30年代初めに「新生活運動」としてスタートを切り、都民自らの創意と活力を結集して生活課題や地域課題を解決し、安心していきいきと暮らせる地域社会の実現を目指し運動を進めてきた。また、昭和40年代からは、生活学校運動・生活会議運動を中心に展開し、身近な生活課題・地域課題を的確に捉え着実に取り組み、明るく住みよい地域社会の実現に向けて大きな役割を果たしてきた。

一方、地球規模の環境問題、少子高齢社会の進展に伴う医療・福祉・介護・教育問題など、次世代を見据えて取り組むべき新たな課題も山積している。しかしながら、運動の主体を担ってきた生活学校や生活会議においては、構成員の新陳代謝が停滞し、構成員の高齢化等で活動を休止、停止する団体も出てきた。

ここ数年は、コロナ禍という特殊な状況もあったが、令和5年度は、会員の協力を得て、直接、団体に働きかけることにより、新規に5団体が加入する等の効果があった。

戦争等による物価高騰など、まだまだ厳しい社会経済状況下ではあるが、ポストコロナを迎える中、「東京のあすを創る協会」を構成する会員の交流を更に活発化し、各団体の実態に合わせ、工夫して活動できるような様々な支援を行っていく。

令和6年度は、次の項目に重点を置き運動を推進する。

1. 安全・安心、活力あるまちづくり、子育て環境の整備、高齢者の医療・福祉や健康づくり、自然環境の保全・学習、省資源・省エネルギー・資源再利用、食の安全確保など多岐にわたる課題に取り組んでいる団体に対して新たな支援を行う。
2. 東京のあすを担う子どもたちへの様々な取り組みに対して積極的な支援を行う。
3. 広報活動を充実し、会員相互の交流を活発化し、運動の普及・発展を図る。
4. 東京都内全区市町村との連携を図り事業を推進する。

## 2 事業

### 第1号事業 啓発普及及び表彰

都民及び活動関係者を対象に、運動に対する啓発普及・振興を図るため、運動推進大会の開催、功労団体等の表彰を行う。

事業名	実施時期	実施会場	対象者	摘要
1.東京のあすを創る運動推進大会	2月	消費生活総合センター	活動関係者 都民	活動関係者、都民を対象に講演等を行い、今後の運動推進に資する。
2.功労団体等表彰			団体等	活動の振興に永年功労のあった団体等に対し、協会が表彰する。

### 第2号事業 調査研究及び資料の作成頒布

活動の普及と活動団体の質的向上を図るため、生活学校・生活会議等の活動情報及び調査研究情報並びにPR資料等の作成配布を行う。

事業名	実施時期	内容等	摘要
1.機関誌「ふれあい東京」の発行	9月・3月	回数:2回 部数:各1,000部	広く活動をPRするため、活動の生き生きとした情報を提供する。
2.調査活動	年度間	社会的な課題の中から地域活動の実態調査を実施する。	推進大会等の基本的な資料とし、地域活動に役立つ。
3.ホームページ	年度間	様々な地域活動状況を発信する。	定期的に更新して内容を充実する。

### 第3号事業 シンポジウムの開催等

都民及び活動関係者を対象に、運動に対する啓発普及・振興を図るため、下記の各種集会を開催する。

事業名	実施時期	実施会場	対象者	摘要
1.都民フォーラム	11月	消費生活総合センター	都民 活動関係者	広く今日的社会的なテーマを取り上げ、活動の理解と普及を図るため講演等を開催する。
2.生活学校・生活会議 リーダー研修会				
代表者会議	6月上旬	消費生活総合センター ほか	団体代表者 等	団体の代表者が一堂に会し、運動推進について理解を深め、一層の普及拡大を目指す。
指導者研究集会	6月			活動リーダーを育成するとともに各団体間の連携を密にし、活動の活性化を図る。
課題講習会	6月～8月		課題に関心ある者	実践的な課題・テーマを取り上げ、活動リーダーの資質向上、技術等の習得につながる機会を提供する。
3.課題別研修会				
生活学校研修大会	2月	消費生活総合センター ほか	生活学校メンバー	生活学校運動推進について協議し、活動の拡充・強化を図る。
まちづくり運動の輪を広げる集い	10月	公共施設	生活会議メンバー	まちづくりの課題の学習とともに、活動事例を交換し、生活会議の活性化を図る。

### 第4号事業 実践団体の活動に対する協力及び支援

(1) 生活学校・生活会議に対して各種の支援を行い、集団活動の活性化と、活動の拡大促進を図る。

事業名	内容等
1.生活学校支援	身近な生活課題解決の活動を展開する自主的な活動集団に対し支援を行い活動の拡大促進を図る。 (1)活動費補助15団体 新規・開設2年目 1校 30,000円 3年以上継続 14校 各20,000円 (2)運営相談 (3)資料情報の提供
2.生活会議支援	住みよい地域社会づくり活動をすすめる自主的なまちづくり集団の活動に対して支援を行い活動の拡大促進を図る。 (1)活動費補助50団体 新規・開設2年目 8団体 各30,000円 3年以上継続 42団体 各20,000円 (2)運営相談 (3)資料情報の提供
3.NPO法人等支援	組織的に地域活動を行っているNPO法人等に対して、定款、規約等に設けられている法人会員となり、その活動を支援する。 10団体 各20,000円
4.運動推進活動	運動の啓発・普及のため、活動団体への支援や各種活動を推進する。 活動関係者を対象に毎月(12回)「運動推進NEWS」を発行、最新の情報を提供する。

(参考)実践団体 6年度見込数

対象団体	団体数	前年度	増減
生活学校 (団体会員)	15	16	-1
生活会議 (団体会員)	50	49	+1
NPO法人 (非会員)	10	10	0
計	75	75	0

(2) 活動の振興・推進のために、各種団体との連絡調整を図ると共に各種集会への参加協力を行う。

団体名	実施回数	会場	摘要
生活学校連絡協議会	年間12回	協会事務所他	事業の活動推進、連絡調整、情報交換、対話集会・研修大会等の企画運営
生活会議連絡協議会	年間7回	協会事務所他	事業の活動推進、連絡調整、情報交換、まちづくりのつどい等の企画運営

あしたの日本を創る協会関連

事業・会議名	実施時期	会場等
生活学校・生活会議運動全国大会	6月	国立オリンピック記念青少年総合センター
関東甲信越静岡ブロック研究集会	10月	ホテルグランドヒル市ヶ谷

## 第6号事業 その他必要な事業

### (1) 定款に基づく会議の開催

会議名	開催数	開催予定時期	審議事項
1 総会	年2回	令和6年6月下旬(定時総会) 令和7年3月中下旬(臨時総会)	事業報告・決算審議 事業計画・予算審議
2 理事会	年3回	令和6年4月下旬 令和6年5月中下旬 令和7年3月中下旬	6月総会案件決定 事業報告・決算審議 事業計画・予算審議
3 監事会	年1回	令和5年5月上旬	事業報告・決算監査

## 令和6年度 正味財産増減予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,000	1,000
基本財産受取利息	0	1,000	1,000
特定資産運用益	0	1,000	1,000
振興基金受取利息	0	1,000	1,000
受取会費	250,000	0	250,000
個人会員受取会費	100,000	0	100,000
団体会員受取会費	150,000	0	150,000
受取寄附金	0	0	0
受取補助金(東京都補助金)	24,899,400	2,766,600	27,666,000
雑収益	0	31,000	31,000
受取利息収益	0	1,000	1,000
雑収入	0	30,000	30,000
<b>経常収益計</b>	<b>25,149,400</b>	<b>2,799,600</b>	<b>27,949,000</b>
(2) 経常費用 事業費/管理費			0
役員行動交通費	0	100,000	100,000
給料手当	14,904,000	1,656,000	16,560,000
臨時雇賃金	50,000	0	50,000
退職金積立金(中退共)	648,000	72,000	720,000
福利厚生費	2,340,000	260,000	2,600,000
職員旅費	36,000	4,000	40,000
会議費	45,000	5,000	50,000
通信運搬費	387,000	43,000	430,000
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	252,000	28,000	280,000
印刷製本費	63,000	7,000	70,000
器材借上料	468,000	52,000	520,000
光熱水費	342,000	38,000	380,000
事務所賃借料	3,726,000	414,000	4,140,000
諸謝金	72,000	8,000	80,000
租税公課	0	0	0
支払負担金	189,000	21,000	210,000
支払助成金	1,590,000	0	1,590,000
事務所諸経費	99,000	11,000	110,000
交際費	0	10,000	10,000
<b>経常費用計</b>	<b>25,211,000</b>	<b>2,729,000</b>	<b>27,940,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△61,600	70,600	9,000
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0

当期経常増減額	△61,600	70,600	9,000
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計			0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
他会計振替額			0
租税公課(法人税、都民税均等割)			0
当期一般正味財産増減額			9,000
一般正味財産期首残高			15,284,252
一般正味財産期末残高			15,293,252
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
Ⅲ 正味財産期末残高			15,293,252